

2022 年 8 月 30 日作成

Ver.1.1

イムノコンプレキソーム解析による自己免疫性肝炎症例の新規特異的抗原同定**1、研究の目的と意義**

自己免疫性肝炎は自分自身の免疫システムで肝臓に炎症を起こしてしまう病気ですが、詳しい原因やメカニズムはわかっていません。肝臓の中で何かを“異物”や“敵”として認識し、免疫反応の標的としているはずですが、これまでの研究では何を標的としているかわかっていません。

免疫反応の標的のことを医学用語では抗原と言いますが、この研究では自己免疫性肝炎における未知の抗原を明らかにすることを目的としています。自己免疫性肝炎の抗原を特定し、その性質を調べたり血液中の量を測定したりすることで、病気の診断や病状の把握、治療方針の決定に役立てたいと考えています。

2、対象となる患者さん

2008 年 5 月 1 日から 2024 年 6 月 31 日の期間において、自己免疫性肝炎または非アルコール性脂肪性肝疾患・肝炎が疑われ、長崎大学病院消化器内科に入院した方
(既に免疫抑制剤を内服されていた方や参加に同意されない方は除きます)

3、研究の方法

“イムノコンプレキソーム解析”という特殊な検査を行うことで、血清の中から抗原を抽出します。血液は通常の診療で行われた血液検査で発生した余りの血液を用いますので、追加の採血や検査を受ける必要はありません。そのほか、下記のような情報を電子カルテから収集して患者さんの特徴や関連する検査項目などの解析を行います。

4、研究に用いる試料・情報

試料：診療の際に余った血清

情報：性別、年齢、身長、体重、内服薬、飲酒歴、既往歴、血液検査、CT 検査、超音波検査、骨密度検査、肝生検、免疫抑制剤の使用量と使用後の治療経過

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2025 年 3 月 31 日

6、外部への試料・情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 消化器内科 研究責任者 松尾 諭

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 消化器内科 松尾 諭

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7481 FAX 095（819）7482

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間 ：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）